

遮光ネットで快適となったプールで水泳を楽しむ大原中学校の生徒ら
＝16日、竹富町立交流センター



プール開きだ 生徒ざぶん

大原中使用 竹富町立交流センター

長井さんが遮光ネット寄贈

【西表】大原中学校（石原昌英校長）のプール開きが16日、竹富町立交流センターで行われた。この日、地域の長井運送代表の長井成夫さんが遮光ネットを贈呈。長井さんは「プールが大変暑いと聞いた。遮光ネットを使い皆さんに喜んでもらえたらうれしい」と話した。

近年水温の上昇が著しく、5年前に30度超え、昨年は35度超えが普通になった。気温と水温を足して65度以上は危険水温とされるが、多くのプール日で危険水温が見られた。

昨年、プール管理人の玉元志帆さんからその話を聞

いた長井さんが自社で保有している未使用の遮光ネットの提供を申し出た。今年、取り付け工事が行われ、プール開きに間に合わせた。

この日のプール開きでは、遮光ネットの設置で火傷しそうに熱くなるコンクリート床も水温もひんやり。直射日光のまぶしさも返られて快適になり皆感謝した。石原校長と生徒代表が安全祈願を行った後、プールに入った生徒たちは楽しそうに水しぶきをあげ、それぞれの自己記録更新に挑戦した。

（山城まゆみ東部通信員）